

土木学会原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会  
第1回小委員会（キックオフミーティング）議事録

1. 日時：2020年1月14日（火）15:30-18:00
2. 場所：電力中央研究所大手町本部 720B 会議室（大手町ビル7階）
3. 出席者：奈良委員長、桑垣委員、平川委員、松本委員、松村幹事長  
陪席者（オブザーバ）：蛭沢勝三（電力中央研究所）、堀口逸子（東京理科大学）

4. 配布資料

- 資料1 アジェンダ（土木学会原子力土木委員会リスクコミュニケーション小委員会）
- 資料2 土木学会原子力土木委員会の概要（土木学会ホームページの抜粋等）
- 資料3 土木学会原子力土木委員会の概要（ENERGY for the FUTURE 2019No.1、No4より抜粋）
- 資料4 人文・社会科学の観点からの期待と貢献：リスクコミュニケーションの基本から原発コミュニケーションを考える

5. 議事要旨

奈良委員長から、小委員会の設立経緯の説明、松村幹事長から、原子力土木委員会の活動概要の紹介、奈良委員長から、話題提供「人文・社会科学の観点からの期待と貢献ーリスクコミュニケーションの基本から原発コミュニケーションを考えるー」がなされ、原子力土木委員会で扱うリスクコミュニケーションの射程（取り扱う「リスク」、リスコミのアクター、目指すゴールなど）について、情報・意見交換を行った。

様々な意見が出されたなか、組織外部の関係者のみならず組織内でのリスコミが必要であること、専門家間でのリスコミが必要であること、リスクのみならず便益の提示も必要であること、実際の現場で活かせる手法が必要であること等が、重要な論点としてあらためて確認された。

そのうえで、小委員会での具体的な取り組みとして、原子力土木のリスクコミュニケーションについて、各アクターが考えているリスコミの要件や内容の異同を把握・分析するための調査、原発関係者（電力会社、地域住民等）へのインタビュー調査、多様なアクターが参加するワークショップ、市民と専門家の間をつなぐコミュニケーターの発掘などが提案され、デルファイ法を用いた調査の対象や実施方法などについて議論した。

6. 今後の予定

次回は2020年4月頃の開催を予定する。また、適宜、委員のほかにも有識者等からの話題提供や事例紹介を受け、最新情報の把握と共有を行う。

以上